

# harman / kardon<sup>®</sup> by HARMAN SOHO WIRELESS

## 取扱説明書

### 安全上のご注意

- 使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

**警告** この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

**注意** この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

**禁止** (してはいけないこと) を示す記号です。

**水がかか**る場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

**分解** してはいけないことを示す記号です。

**指示** に基づく行為の強制 (必ず実行していただくこと) を示す記号です。

**濡れた手** で扱ってはいけないことを示す記号です。

**電源アダプタ** をコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

**触** れてはいけないことを示す記号です。

### 警告

**煙** が出る場合、異常なおいや音が出る場合は、すぐに電源を切る。煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社サービスセンターに修理を依頼してください。

**水道の蛇口** 付近や風呂場などの濡れている場所や水気の多い場所では使用しない。火災・感電の原因になります。

**本機の内部** に水などが入った場合は、本機の電源を切り、販売店または弊社サービスセンターに点検を依頼する。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

**アルコール・シンナー** などの引火性溶剤の近くに設置しない。引火性溶剤が本機内部の電源部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

**分解** や改造をしない。感電の原因になります。

**調理台** や加湿器の近くなど油煙や湯気があたる場所に設置しない。火災・感電の原因になることがあります。

**交通安全** のために自転車やバイク、自動車の運転中にヘッドホンを使用しない。周囲の音が聞こえにくくなるため、交通事故の原因となります。

**歩行中**、交差点や踏切、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しない。交通事故の原因となります。

### 注意

**ほこり** や湿気が多い場所に設置しない。ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因となります。

**薬物厳禁**  
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また、接点復活剤を使用しない。外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

### 内蔵電池についてのご注意

**内蔵電池の液が漏れたときは直ちに火気より離す。**  
漏液した電解液に引火し、破裂、発火する原因になります。また電池の液が目に入ったり体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因になります。

● 液が漏れたとき  
→ 漏れた液に触れないように注意しながら、直ちに火気より離してください。乾いた布などで電池ケースの周りをよくふいてください。

● 液が目に入ったとき  
→ 目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、ただちに医師の診察を受けてください。

● 液が体や衣服についたとき  
→ すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い流してください。

**内蔵電池について以下のことに注意する。**  
本製品はリチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池にはリチウムが含まれており、誤った使用、取り扱い、廃棄により爆発する恐れがあります。  
● 火の中に入れたり、加熱したりしないでください。また、直射日光のあたる場所、高温多湿の場所、車中等に放置しないでください。  
● 使用中、保管時等に発熱したり、異臭を発生したり、変色、変形、その他今までと異なる場合は使うのを止めてください。  
● 電子レンジや高圧容器に入れしないでください。  
● 水、海水、ジュースなどで濡らさないでください。  
● 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。  
● 所定の時間を超えても充電が終わらない場合は、充電を止めてください。  
● 本書で指定している以外の方法で充電しないでください。

### Bluetooth<sup>®</sup> に関するご注意

本機は、2.4GHzの周波数帯の電波を利用しています。この周波数の電波は、一般家庭でもいろいろな機器（電子レンジやコードレスフォンなど）で使用されています。

以下のような場所で本機を使用する場合、送信 / 受信ができなくなることがあります。

- 2.4GHzを利用する無線LAN、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。(環境により電波が届かない場合があります。)
- ラジオから離してお使いください。(ノイズが出る場合があります。)
- テレビにノイズが出た場合、本機（および本機対応製品）がテレビ、ビデオ、BSチューナー、CSチューナーなどのアンテナ入力端子に影響を及ぼしている可能性があります。本機（および本機対応製品）をアンテナ入力端子から遠ざけて設置してください。

#### 注意

- 本機の使用によって発生した損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本機は、全てのBluetooth機器との接続動作を保証するものではありません。
- 弊社ではお客様の接続機器に関する通信エラーや不具合について、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

#### 安全にお使いいただくために

- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しない。電子機器に誤動作するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- 航空機内や病院など、使用を制限された場所では電子機器や医療用電気機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。ご使用前に航空会社、医療機関にご確認ください。

#### ご注意ください電子機器の例

補聴器、ペースメーカー、その他医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他自動制御機器など。  
ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用される方は、該当の各医療用電気機器メーカーまたは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

#### 電波法に基づく認証について

本機は電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の行為を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本機を分解 / 改造すること。
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。

#### 周波数について

この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFHSS（周波数拡散方式）を採用し、想定される干渉距離は約10mです。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、弊社サービスセンターにご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社サービスセンターへお問い合わせください。

### 本機の特長

- ◆ 簡単・快適に高音質を楽しめる、NFC 対応 Bluetooth ワイヤレスヘッドホン
- ◆ ハウジングへのタッチ操作で、音楽再生のリモートコントロールが可能な“イヤークップ・モーションセンサー”を搭載
- ◆ 新開発φ 30mm ダイナミック型ドライバーによる、きめ細やかでナチュラルなサウンド
- ◆ コンパクトでスリムなスクエアシェイプ・ハウジングによる高いポータビリティ
- ◆ 本革を使用したヘッドバンドとハウジング、そしてステンレス・スティールが織り成す、洗練されたユーロスタイルデザイン

### 付属品

お使いになる前に、以下の付属品がすべてそろっていることをご確認ください。

- 充電用ケーブル (mini USB ↔ USB)
- ヘッドホンケーブル (1.2m)
- キャリングケース
- 日本語取扱説明書 (本紙)
- 多言語取扱説明書
- 保証書 (日本国内用) ※製品パッケージに貼付

### 充電する

付属の充電用ケーブルを使って充電します。

充電時間は約2時間\*です。

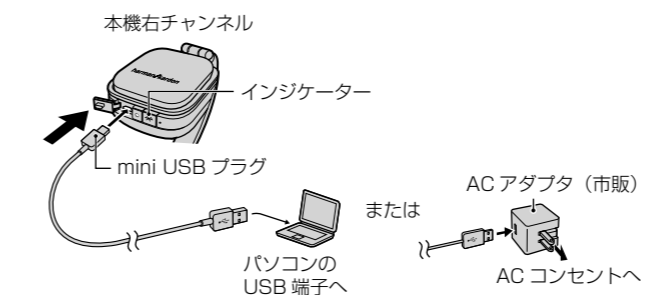
\* 内蔵電池が空の状態から満充電になるまでの時間です。

① 下図のように、本機右チャンネルのUSB端子のキャップを開け、充電用ケーブルを接続します。

② 充電用ケーブルを、お手持ちのパソコンまたは市販のUSB対応ACアダプタを使用して、コンセントに接続します。

- 本機の充電用ケーブルをパソコンと接続して、USBヘッドホンとして使用することはできません。
- 充電中は本機を使用することはできません。

- Bluetoothを使用しない場合や電池切れの際は、ヘッドホンケーブルを接続することで通常のヘッドホンとしてお使いいただけます。



#### 内蔵電池残量について

電池残量が少なくなると本機右チャンネルのインジケータが白から赤に変わり、さらに残量が少なくなると赤く点滅します。

インジケータが赤く点滅したら、充電してください。

## Bluetooth<sup>®</sup>

- Bluetooth ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。
- Harman International Industries, Incorporated は、これら商標を使用する許可を受けています。
- Harman Kardon は米国およびその他の国々における Harman International Industries, Incorporated の登録商標です。
- iPod, iPad, iPhone は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- 本取扱説明書では、® および ™ 表記を省略しています。

### 使い方

#### ▶ オーディオケーブルを接続して装着する

ヘッドホンケーブルを接続せずに、Bluetooth 機能を使ってワイヤレス接続を行いたい場合は、「Bluetooth 接続を行う」を参照してください。

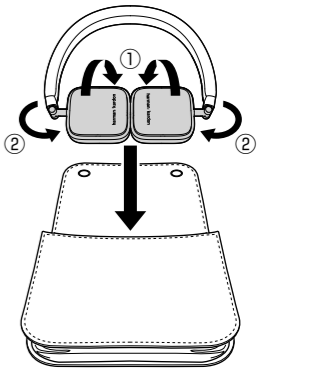


### キャリングケースに収納する

本機と付属のケーブル類を、付属の専用キャリングケースに収納して、便利に持ち運ぶことができます。

① 右図のように、ハウジングを90°回転させ、本機を平たく折りたたみます。

② 右図のように、チャンネルのハウジングを折り曲げて収納します。



## Bluetooth 接続を行う

- Bluetooth 機能を使ってワイヤレス再生やハンズフリー通話を行うには、はじめに本機と Bluetooth 対応デバイスを認識させる「ペアリング」が必要となります。
- 本機は NFC を利用したペアリングに対応しています。お手持ちの携帯電話・スマートホンが Bluetooth の NFC 規格に対応している場合、デバイスを本機にタッチするだけで、ペアリングを行うことができます。

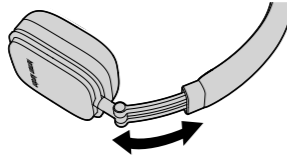
### ▶ ペアリングを行う

以下の手順は一例です。詳細については、接続する機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

- ① 本機右チャンネルの※(Bluetooth) ボタンを押します。インジケーターが点滅し、ペアリング設定状態になります。



- ② 以下の説明を参照し、デバイス側でペアリング操作を行い、登録 / 接続する。ペアリングが完了すると、電子音が鳴りインジケーターが点灯します。
- ③ ヘッドバンドの長さを調整して装着する。



NFC 対応スマートホンの場合：

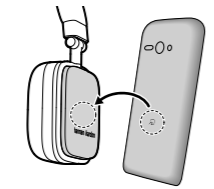
- ① Galaxy や Xperia をお使いの場合、「設定」→「NFC / おサイフケータイ設定」→「Reader/Writer, P2P」を「ON」にします。
- ② 携帯電話・スマートホンを、本機のタッチポイントにタッチします。

携帯電話・スマートホンの NFC マーク (📶) を、本機のタッチポイントに向けてタッチしてください。

初めて接続した場合、ペアリングするかどうかの確認メッセージが表示されます。この場合は「はい」をタップすると接続が完了します。

- 認識されにくい場合は、デバイスをタッチする角度を調整してください。

- Galaxy、Xperia 以外のスマートホンをお使いの場合の設定方法は、お使いの機種取扱説明書をご覧ください。



左チャンネルのタッチポイントへタッチする

iPhone/iPod/iPad の場合：

- ① iPhone/iPod/iPad をペアリング設定状態にする。「設定」→「Bluetooth」の順にタップした後、「Bluetooth」を「オフ」から「オン」にします。Bluetooth に接続できるデバイスの一覧が表示されます。
- ② デバイスから「HK Soho Wireless」を選択する。接続が完了すると、デバイス上で「接続されました」と表示されます。

携帯電話・スマートホンでハンズフリー接続を行う場合：

- ① 携帯電話・スマートホンでペアリング操作を行い、登録 / 接続する。(パスキーが必要な場合は「0000」と入力します。)ハンズフリー通話をしたい場合は「ハンズフリー (HFP)」または「ヘッドセット (HSP)」、音楽再生のみ行いたい場合は「ワイヤレスステレオ (A2DP)」で接続してください。
  - 登録にはお使いの携帯電話・スマートホンの「端末暗証番号」が必要になる場合があります。
  - 機種によっては同時に接続できないものがあります。また、設定方法は機種により異なりますので、携帯電話・スマートホンの取扱説明書も合わせてご覧ください。

その他のデバイスの場合：

- ① ペアリング設定状態にする。接続するデバイス側で、本機を検出可能な状態にします。お使いのデバイスの取扱説明書も合わせてご覧ください。(パスキーが必要な場合は「0000」と入力します。)一部のデバイスでは、接続を確認するメッセージが表示されます。ペアリングが完了すると、電子音が鳴りインジケーターが点灯します。

### ご注意

- Bluetooth は約 10m までの距離で接続できますが、障害物 (人体、金属、壁など) や電波状態によって接続有効範囲は変動します。
- Bluetooth アンテナ部は本機の右チャンネルに搭載されています。たとえばズボンのポケットにデバイスを入れてお使いになる場合、右のポケットに入れることで、Bluetooth 接続の感度が良くなります。本機とデバイスの間に障害物などがあつた場合、接続有効範囲は変わります。
- 以下の場合、Bluetooth 接続に障害を起こす場合があります。このような場合、再生や通話が途切れることがあります。使用環境を変えてご使用ください。
  - 金属製のかばんの中で使う場合
  - リュックなど背中に背負うかばんや肩にかけるかばんに入れて使う場合
  - 無線 LAN が構築されている場所、電子レンジ・携帯電話・通信機能のある携帯ゲーム機器などを使用中の周辺、またはその他電磁波が発生している場所など

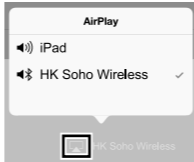
本機は一度ペアリングを行ったデバイスの情報を記憶していますので、ペアリングを行ったあとは、本機の電源を入れ、接続したいデバイスの Bluetooth をオンにするだけで Bluetooth 接続することができます。

### ▶ Bluetooth 再生を行う

Bluetooth 再生を行うには、ペアリングを行ったあと本機を再生機器として設定します。

### iPhone/iPod/iPad で設定する

- ① iPhone/iPod/iPad 画面を下から上へスワイプする。
- ② アイコンをタップする。
- ③ 「HK Soho Wireless」をタップする。



### その他のデバイスで設定する

▶ 接続したデバイスで再生を始める。

接続するデバイスによって再生の手順は異なります。詳細については、接続するデバイスの取扱説明書も合わせてご覧ください。

### ▶ Bluetooth 接続を解除する

※(Bluetooth) ボタンを長押しします。

または、デバイス側で Bluetooth を「OFF」にし、接続を解除します。

### ▶ 別のデバイスとペアリングを行う

Bluetooth ボタンを押すと、ペアリングモードになります。

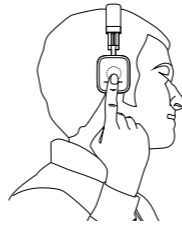
### ▶ 本機の電源をオフにする

※(Bluetooth) ボタンを押します。

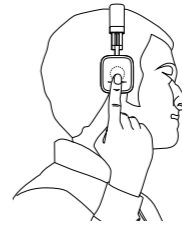
## 基本操作

本機の右チャンネルのハウジングトップに、タッチセンサーパネルを搭載しています。ハウジングパネルを指でなぞることで、音量調整、再生、一時停止、ハンズフリー通話の着信応答、終話をコントロールすることができます。

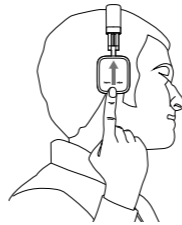
中央部をタッチして再生 / 一時停止します。



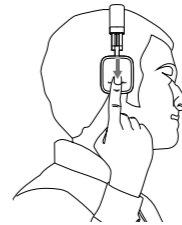
携帯電話・スマートホンの着信中にタッチして、電話を受けます。もう一度タッチすると電話を切ります。



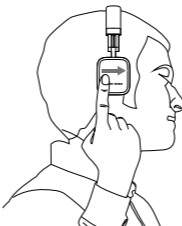
上にスライドして、音量を上げます。



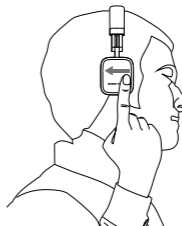
下にスライドして、音量を下げます。



手前にスライドして、次の曲へスキップします。

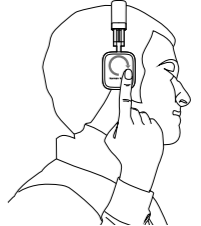


後ろにスライドして前の曲へバックスキップします。

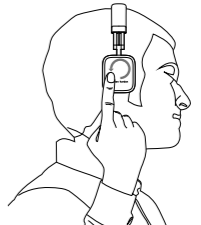


### ▶ タッチセンサーコントロールをロックする

時計回りに指をスライドさせると、タッチセンサーコントロールがロックされます。



解除したい場合は、反時計回りに指をスライドさせます。



### ご注意

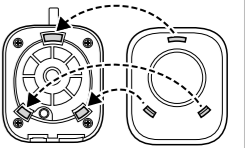
- ・タッチセンサーコントロールは、Bluetooth 接続時のみお使いいただけます。
- ・ハウジングパネルが損傷する恐れがありますので、爪や先のとがったもので、タッチセンサーコントロールを行わないでください。
- ・タッチセンサーが誤作動することがありますので、髪の毛や帽子などがタッチセンサー部に触れないように装着してください。

## イヤパッドを交換する

イヤパッドが傷んできたときは、イヤパッドを新品のものと交換してください。新品のイヤパッドを購入する場合は、弊社サービスセンターにお問い合わせください。

- ① イヤパッドをヘッドホンから外します。
- ② 新品のイヤパッドを装着します。

イヤパッドのフックがヘッドホンの穴に入るように装着します。



## 主な仕様

タイプ	密閉ダイナミック型 (オンイヤー) Bluetooth ワイヤレス
周波数特性	20Hz ~ 20kHz
感度	100dB/mW (有線接続時)
インピーダンス	32 Ω (有線接続時)
Bluetooth	Bluetooth3.0 (NFC 対応)
伝送範囲	Class 2 (通信距離約 10m、障害なきこと)
対応プロファイル	A2DP、AVRCP、HSP、HFP AAC、apt-x、SBC 対応
入力	Bluetooth、φ 3.5mm ステレオミニ (L 型)、Mini-USB
電池	リチウムイオン充電電池
充電時間*	約 2 時間
連続使用時間*	音楽再生：約 9 時間
質量	168g (本体のみ)
材質	本革、ステンレス・スチール

※・電池は消耗品です。正しい方法であっても充電・放電を繰り返すと徐々に使用できる時間が短くなります。  
・高温状態で保管すると、電池性能の劣化が早まります。直射日光があたりず、風通しの良い涼しい場所で保管してください。

### ▶ 本機の廃棄について



Li-ion

本機は内蔵電池として充電式リチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池にはリチウムが含まれており、誤った使用、取り扱い、廃棄により爆発する危険性があります。本機に内蔵されているリチウムイオン電池はリサイクルが可能です。本機がご不要となりましたら、一般ゴミなどと一緒には廃棄せず、弊社アフターサポートの窓口へご連絡ください。

### ご注意

感電などの危険があるため、本機を絶対に分解しないでください。

### ▶ お手入れ

外装の汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた液を少し含ませた布でふき、その後乾いた布でふき取ってください。

### ▶ HARMAN Owners' Club

この度は Harman Kardon 製品をご購入いただき誠にありがとうございます。HARMAN Owners' Club (ハーマンオーナーズクラブ) は、ハーマンインターナショナル取り扱い製品ご愛用者のための会員プログラムです。

会員様に向けたさまざまな特典やサービスをお届けします。

<https://www.harman-ownersclub.jp>

このアドレスからアクセスしてください。携帯電話 (フィーチャーホン) からはご登録できませんのでご注意ください。

### ▶ アフターサポート

日本国内のアフターサポートに関する情報は、ハーマンインターナショナル株式会社ホームページに掲載しています。

<http://hk.harman-japan.co.jp/support/>

Tel: 0570-550-465 (ナビダイヤル)

受付時間: 土日・祝日を除く、平日 9:30 ~ 17:30